

	検査期間					検査期間			
	検査回数	検査点数	基準値超過点数	超過割合		検査回数	検査点数	基準値超過点数	超過割合
福島県内 海産種	事故後から2011年度	3,074	1,077	35.0%	福島県外 海産種	事故後から2011年度	4,361	112	2.6%
	2012年度	6,270	791	12.6%		2012年度	9,917	51	0.5%
	2013年度	7,847	181	2.3%		2013年度	9,540	12	0.1%
	2014年度	8,753	48	0.5%		2014年度	8,994	2	0.02%
	2015年度	8,633	0	0%		2015年度	7,745	0	0%
	2016年度	8,842	0	0%		2016年度	7,088	0	0%
	2017年度	8,559	0	0%		2017年度	8,317	0	0%
	2018年度	8,230	1	0.02%		2018年度	5,579	0	0%
	2019年度	5,456	0	0%		2019年度	5,245	0	0%
	2020年度(12月31日まで)	3,153	0	0%		2020年度(12月31日まで)	3,726	0	0%
福島県内 淡水種	事故後から2011年度	545	173	31.7%	福島県外 淡水種	事故後から2011年度	596	114	19.1%
	2012年度	655	88	13.4%		2012年度	2,723	163	6.0%
	2013年度	683	57	8.3%		2013年度	2,625	52	2.0%
	2014年度	938	27	2.9%		2014年度	2,237	23	1.0%
	2015年度	635	7	1.1%		2015年度	1,789	7	0.4%
	2016年度	701	4	0.6%		2016年度	1,527	7	0.5%
	2017年度	750	8	1.1%		2017年度	1,303	3	0.2%
	2018年度	909	5	0.6%		2018年度	1,204	0	0%
	2019年度	1,183	4	0.3%		2019年度	1,007	2	0.2%
	2020年度(12月31日まで)	682	0	0%		2020年度(12月31日まで)	894	1	0.1%



※検査結果の集計対象は、全国。

2011年3月24日から2020年12月31日までの調査結果を水産庁にて集計。

魚介類は前年度に放射性セシウム濃度が50Bq/kg を超えたことのある魚介類や関係都道府県における主要な水産物を中心として、原則週1回程度のモニタリング調査を行っています。魚介類の基準値超過数は、少しずつ減少しています。

福島県内の海産魚介類において基準値を超える検体は、原発事故直後は検体の約3割確認されました。その後、基準値を超えるものは減少し、2015年4月以降では、1検体確認されたのみとなっています(2019年1月)。福島県以外では2014年9月以降、基準値を超過したものはありません。

福島県内外の淡水種は、2019年度においても基準値超過したものがありませんが、年々、件数は減少傾向にあります。

なお、この基準値とは、2012年4月より設定された100Bq/kgのことを指します(2011年度は暫定規制値が適用されていましたが、2012年以降の結果と比較するために、現在の基準で集計しております)。

本資料への収録日：2018年2月28日

改訂日：2021年3月31日